

テブダック®の治療による 眼障害予防について



テブダックには、重大な副作用の一つとして、視力低下などの眼障害が報告されています。ここでは、そのような副作用を予防するための方法について説明します。

1. 点眼薬について

点眼①:眼の炎症を抑える目薬

(フルオロメトロン点眼液0.1%)

投与前日~3日目まで 4日間

両目に1日3回

(朝·昼·夕)

点眼②:眼の乾きを抑える目薬

(ヒアルロン酸ナトリウム点眼液)

投与 1 日目~投与後 30 日目まで

両目に1日6回

(6時・9時・12時・15時・18時・21時)

テブダック	投与前日	投与1日目 (当日)	投与2日目	投与3日目	~投与後30日目
点眼①					
点眼②					

2. 注意事項について

- ▶ テブダックの治療期間中はコンタクトレンズの装着は避けてください。
- ▶ 治療中止になっても、30日間はコンタクトレンズは使用しないでください。
- ▶ 治療中、以下のような症状がある場合は、速やかに病院に連絡しましょう。
 - □目の充血
 - □ 目のかすみ
 - 異常にまぶしく感じる
 - □ 目の痛み

- □ 異物感
- □ 目やにの増加
- □ 目のかゆみ
- □ 見えづらく感じる

3. テブダック投与当日に持参するもの

■ 処方された目薬 (点眼①・点眼②)

■ 薄手のハンカチかガーゼ (冷却パックを包むため)

※冷却パックは通院治療センターで

準備します

テブダック投与当日は

眼の冷却と血管を収縮させる点眼を行います。

冷却時間: テブダック投与開始5分前

~終了後30分まで

血管を収縮させる点眼:テブダック投与直前



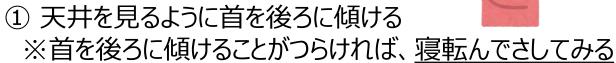
目薬のさし方



点眼方法

手順1. 石けんを使って手を洗う

<u>手順2</u>. 点眼する



- ② 下まぶたを指で軽く引く
- ③ 黒目に向かって、目薬を1滴落とす

?うまく点眼できないときは、【**げんこつ法**】を試してみる**?**

- げんこつを下まぶたにあて、軽く下に引く。
- ② げんこつに目薬を持つ手をのせ、11滴落とす

※目薬の先がまつ毛やまぶた、目に触れないように注意しましょう

手順3. 点眼後、まばたきはせず、軽く目を閉じる

手順4. あふれた薬液は軽くティッシュで拭き取る



<u>手順 5</u>. 薬液が鼻やのどに流れないように 1分程度目頭を軽く押さえる

<u>手順6. 2種類以上</u>の目薬をさす場合は

5分以上間隔をあける

開封後の使用期限は、1か月が目安です 使いかけは破棄してください

(容器に記載されている使用期限は開封前の期限です)



